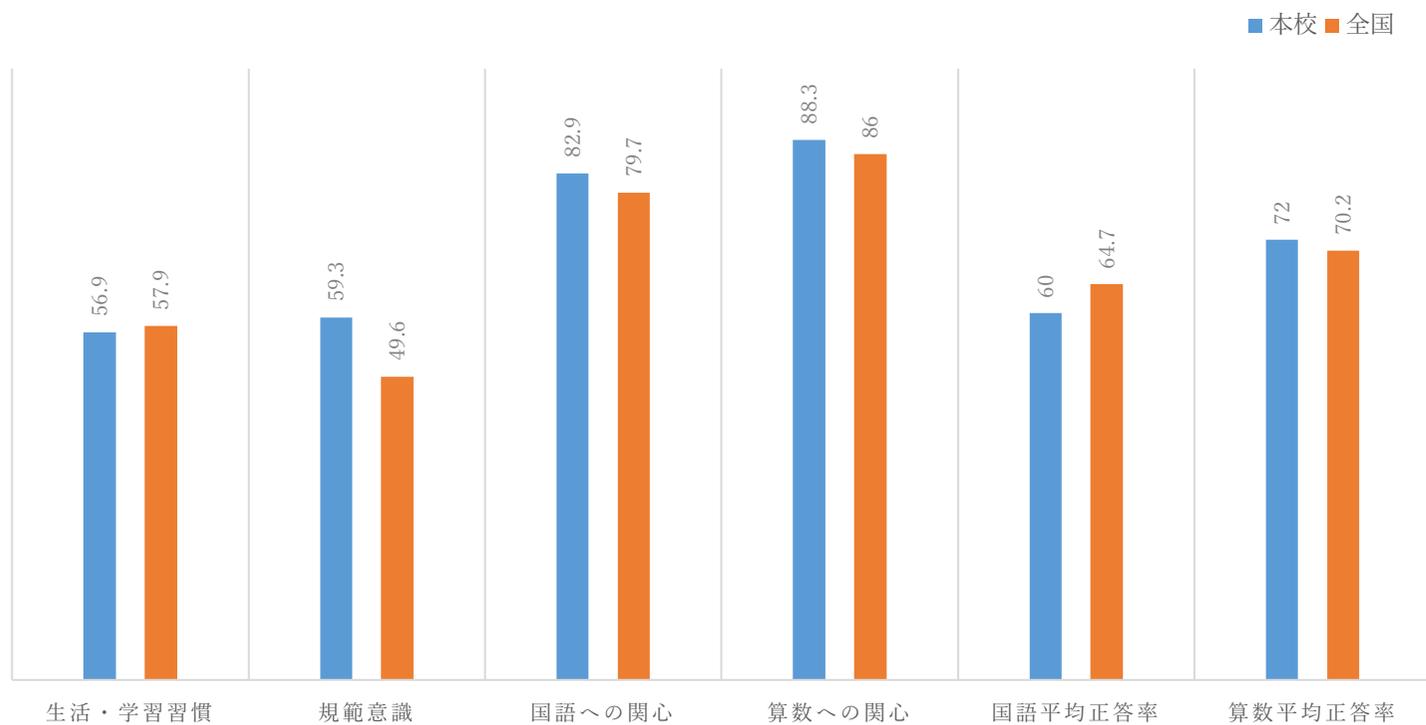


各領域における、全国平均正答率と本校の様子



《現状把握》

- ・国語の平均正答率は、全国平均や都平均を下回った。特に「B書くこと」が都平均より15ポイント、「A話すこと聞くこと」、「C読むこと」はそれぞれ6、7ポイント下回っており、思考力・判断力・表現力に課題がある。
- ・算数の平均正答率は、全国平均は上回っているが都平均は下回っている。特に図形は全国平均を5ポイント上回っている。

《授業改善のポイント》

<国語について>

思考力・判断力・表現力を高めるために、問題解決型の学習や探究的な学習となるよう児童に目的意識をもたせ、音声言語、文字言語での自己表現場面を確保していく。

<算数について>

記述式の問題の正答率が低かったことから、数学的な考え方を身に付け、日常生活と関連付けたり、自分の考えをノートに書いたりする。

《チャートの特徴》

- ・このチャート図は、「全国学力・学習状況調査」及び「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を表したものである。青線が本校の平均を表し、オレンジ線が全国平均を表している。
- ・「生活・学習習慣」は全国平均並みであり、「規範意識」は全国平均よりも大きく上回っており、概ね良い習慣が身に付いていて、落ち着いて学習に取り組むことができていると考えられる。
- ・「国語への関心」「算数への関心」は共に全国平均よりを上回っている。
- ・「国語平均正答率」は全国平均よりも4.7ポイント下回り、「算数平均正答率」は全国平均よりも1.8ポイント上回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・「五葛西ルール」の中に家庭学習の時間の目安を示し、家庭への啓発を行う。
- ・学年便りや学校HPを通して学校の状況を伝え、学校生活における児童の理解を図る。